

一級自動車工学科・自動車整備科

2024年度

授業計画

時 期	1年B巡	単元	実習	教科名	M/T 分解組立		
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	三級自動車シャシ		発行日	2024年6月15日	
総時限	16時限				教科担当	和気、山本、馬場、白取、 麻生、中野、島野、佐々木	● ■

1. 指導教員の実務経験

販売会社にて、MTのクラッチ交換作業に従事した事のある教員により、クラッチの基本構造、作動、トランスミッションの基本構造、作動、動力伝達について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ・クラッチの基本構造を理解する。（コイル式及びダイヤフラム式）
- ・トランスミッションを分解組立することで基本構造を理解し、作動原理を学習する。
- ・クラッチオーバーホール作業の実践を身に着ける。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- 1.クラッチや、トランスミッションの部品を見て名称を理解する。
- 2.作業に適した工具を選択出来る。
- 3.工具の正しい取扱い、作業姿勢が出来る。
- 4.トランスミッション（クラッチを含む）分組のポイントを理解する。
- 5.プル式クラッチの構造と整備方法を理解する。
- 6.クラッチレリーズベアリングの交換作業方法の習得。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・実習履修試験での得点評価 ※本実習は技能要件項目に該当し80点以上で認定となる。
整備科60点以上で合格 工学科70点以上で合格
80点以上：「優」 60点以上（工学科は70点以上）：「良」 60点未満（工学科は70点未満）：「未」
再試験合格の場合得点に関わらず：「可」 再試験不合格の場合、学校長の権限により判定試験を実施し、合格の場合「可」
- 《出題試験項目》
 - ① 実技：コイル・スプリング式クラッチの組立実技試験及びクラッチの名称試験
※部品が揃い次第、「プル式クラッチの分解作業」も併せて実施する。
 - ② 筆記：構造、作動の習熟度を確認するための筆記試験

5. 準備学習

- ・学科シャシ構造 1 Aで学んだクラッチ、トランスミッションに関する内容を復習しておく。
- ・学科で学んだ部品名称を事前に見直しておく。

※ ● ⇒実務経験がある教員

※ ■ ⇒日産資格保持者

一級自動車工学科・自動車整備科

2024年度 授業計画

[illegible]

一級自動車工学科・自動車整備科			2024年度		授業計画	
時 期	B巡	単 元	実 習	教科名	M/ T 分解組立	
7．安全（KYのため必ず授業内で説明）						
番号	作業名		遵守事項		災害事例	チェック
1	重量物の運搬		重いものは班員と協力して運ぶ		手・指・足などの挟み、打撲	
2	金属部品の取り扱い		金属部分での裂傷などを防ぐため、作業するときにはグローブを必ず装着する		手・指の裂傷	
3	スプリング関係の取り扱い		スプリングの反発による目のケガを防止するため作業時には必ずゴーグルを装着する		目・顔の裂傷	
4	各作業時の工具の取り扱い		工具の選択、使用方法を間違えて使用してする事で、ケガを誘引しないようにする		作業が続行できなくなるようなケガ	
8．授業レイアウト（写真の貼り付け可）						
実習場				座学教室		